

神戸輝夫の 二豊漢学講座

2023年度(第七期) 後期

参加料
無料

※予定していた日程から変更になっています。ご確認ください。

【第四回】 日時：10月6日(金) 13:00～14:30 (12:30開場)
場所：J:COMホルトホール大分 201・202会議室

『怪異を語る肥後藩士脇蘭室(愚山)』

孔子は「怪力乱神を語らず」(『論語』述而)と言ったが、後の儒者は歴代にわたって怪異を記した。当然日本の漢学者も怪異を記すようになる。二豊の漢学者の著作にも多く怪異を記したものがある。今回はその中から脇蘭室の著述『菡海漁談』に取り上げられた不思議な話を数話紹介する。

【第五回】 日時：11月17日(金) 13:00～14:30 (12:30開場)
場所：J:COMホルトホール大分 201・202会議室

『廣瀬旭荘(大坂)と劉君鳳(京都)の交友』

旭荘と君鳳は共に咸宜園の同学である。年齢は君鳳が十歳余年長である。二人は後に郷里を離れ旭荘は大坂、君鳳は京都を活動の場とした。旭荘が京都の君鳳を訪ねた回数が多いが、君鳳も一度大坂に旭荘を訪ねている。幕末世相が尊王攘夷をめぐって慌ただしくなると二人は情報を共有し身の安全に務めた。

お申込み

後期の事前お申込みは不要です。

前期でお申込みをされていない方は、当日受付にて申込書のご記入をお願いいたします。

講師

かんべ てるお
神戸 輝夫

元APU孔子学院学院長、
前APU教授、
大分大学名誉教授



お問合せ

立命館アジア太平洋大学 孔子学院事務局

(対応可能時間：平日9:00～17:30)

電話：0977-78-1188

メール：confuapu@apu.ac.jp

ホームページ：http://apu-confucius.com/